

ごみが処理されるまで

～空へとつづく「ごみ」のたび～



くうきよねつき

つうか

空気予熱機を通過します。

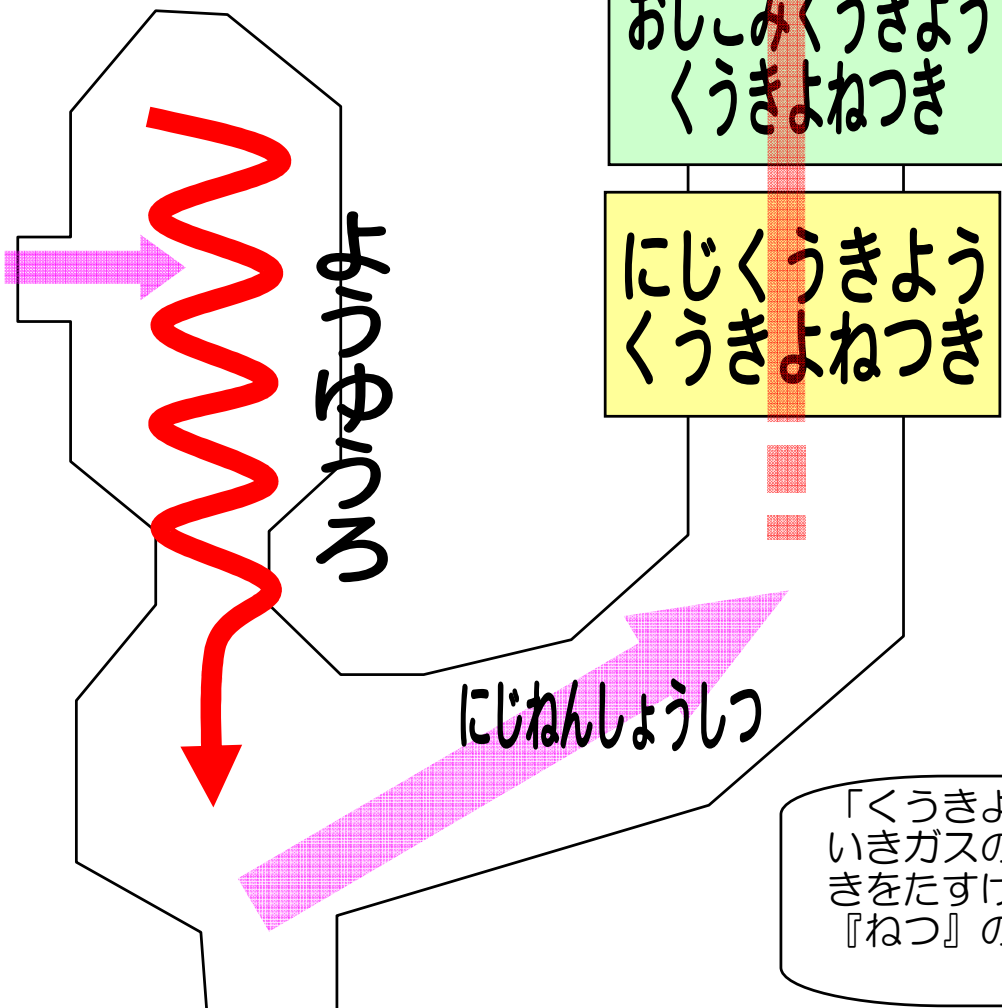
二次^{にじ}燃焼室^{ねんしょうしつ}を通過^{つうか}した、排ガス^{はい}は次に^{つぎ}空気予熱機^{くうきよねつき}を通過^{つうか}します。

空気予熱機^{くうきよねつき}は、「二次^{にじ}空気用^{くうきよう}空気予熱機^{くうきよねつき}」と「押込^{おこ}空気用^{くうきよう}空気予熱機^{くうきよねつき}」の2種類^{しゅるい}あり共に^{とも}、溶融炉内^{ようゆうろない}の温度^{おんど}を再利用^{さいりよう}する仕組み^{しく}になっています。

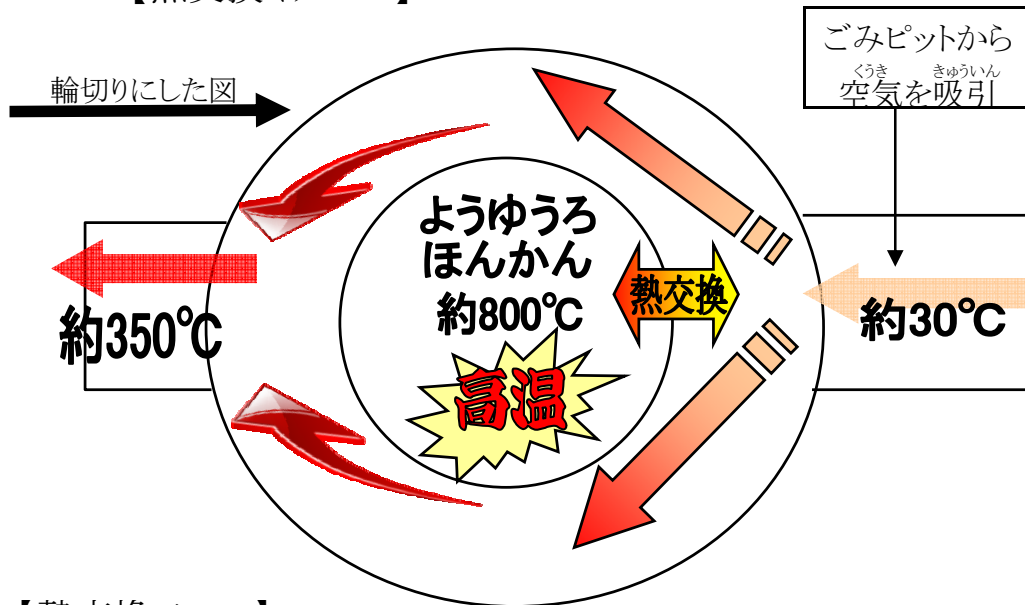
溶融炉内^{ようゆうろない}を通過^{つうか}した排ガス^{はい}の温度^{おんど}を、空気予熱機^{くうきよねつき}を使用^{しよう}し熱交換^{ねつこうかん}する事^{こと}で、排ガス^{はい}の温度^{おんど}を下げ^さると共に^{とも}、空気予熱機^{くうきよねつき}で暖め^{あた}めた空気^{くうき}をガス化炉等^{かろなど}の燃焼^{ねんしょう}の「助け^{たす}」とするのです。

くうきよねつき **空気予熱機** による **熱交換** ねつこうかん

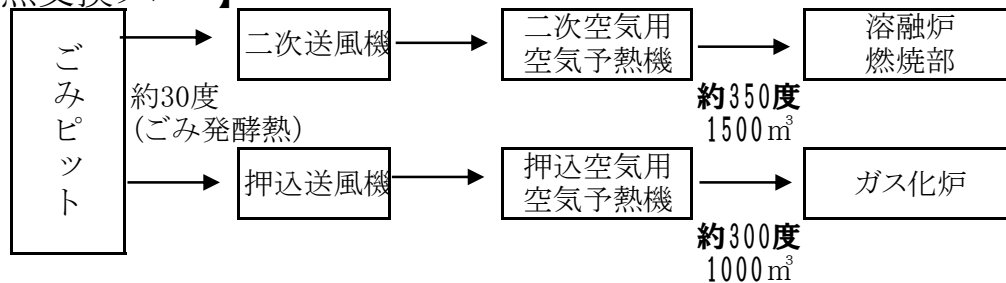
ねつのさいりよう



【熱交換イメージ】



【熱交換フロー】



「くうきよねつき」によって、えんとつから出るはいきガスのおんどを下げると共に、あたためたくうきをたすけるちからとして使っています。
『ねつ』のさいりようをしているんだ！

